

災害時の対応



地震発生後は、津波が発生する可能性があります。津波の恐れがある場合は、速やかに高台か丈夫な建物の上階へ避難しましょう。

- 津波は繰り返し来襲するので、警報・注意報の解除までは警戒を続ける。
- 警報等が解除された後も、河川や海岸には近づかない。



火災が発生し、避難の必要があるときは当該箇所に放送が流れます。

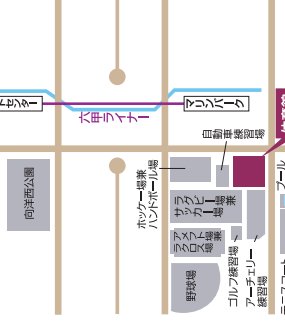
- 出火が発生した際は、すべて避難対象となる。
- あわてて教室を飛び出さず、現場教職員の指示にしたがって教室内や廊下に整列する。
- ハンカチ(または衣類等)を口にあて、姿勢を低くして避難する。
- エレベーターは絶対に使用しない。

津波発生時の避難場所

■ 六甲アイランド総合体育施設

- ①体育館2F 道場
- ②警備員の避難指示があった場合、神戸ペイジエラントホテル&タワーズ

神戸ペイジエラントホテル&タワーズ



※本学は、「神戸ペイジエラントホテル&タワーズ」を運営する「株式会社ホテルニューアーク神戸」上と災害時における相互協力に関する協定書を締結しています。

津波発生時の避難場所

■ ポートアイランドキャンパス

- ①最上階(7階)、教職員の指示により屋上
- ②在館者の安全確保ができない場合、計算科学センタービル



※本学は、財団法人計算科学館財団と災害時における相互協力に関する協定書を締結しています。

災害時の帰宅に関して

帰宅判断の目安

■自宅に帰宅するか、避難場所に残るかを判断

- ① 避難場所から自宅まで10km以内
・帰宅することは可能と考えられますが、自分の体力と相談しましょう。
・災害時の歩行速度は約2.5km/時程度、10kmは4時間を要することになります。
- ② 避難場所から自宅まで10km以上
・帰宅困難に陥る可能性が高くなります。
・無理をせず避難場所に残りましょう。

帰宅時の注意

- ・帰宅時は幹線道路等、大きな道を利用する。
- ・同一方面は集団で帰宅する。
- ・危険な所には近寄らない。
- ・交通機関、停電、災害状況について、正確な情報を得てから帰宅の判断をする。

帰宅できない学生は、キャンパス内で待機してください。

甲南大学では、帰宅困難者のための備蓄品(非常食等)を備えています。

災害時の情報収集・情報共有

災害用伝言ダイヤル171

伝言の録音	伝言の再生
171 にダイヤル 録音する場合 1	171 にダイヤル 再生する場合 2

最後に被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

災害用伝言板サービス

■携帯電話などから安否情報を登録
携帯電話・PHS等で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、電話番号をもとに全国から伝言を確認できます。

災害用伝言板は、携帯電話からアクセス

NTT docomo	au KDDI	NTT web171 docomo LINEモバイル
SoftBank モバイル Yimobile		

NTTweb171はインターネット環境があれば、誰でも登録できます。上記の携帯電話以外を利用の方や、携帯電話を持っていない方はパソコンからNTTweb171を利用しましょう。https://www.web171.jp

いざ!という時のお役立ちツール

災害時に使える無料Wi-Fi
大規模災害時に被災者等が利用できる無料の公衆無線LAN「FREE Wi-Fi」も簡単に接続できる反面、個人情報を入力などには注意が必要です。

radiko.jp
インターネット上でAM/FMの地上波ラジオを聴けるサービス。ラジオは停電の中でも、最も早く、確実な情報を入手するのめ有効。

Yahoo!防災速報
自宅、実家、学校など、国内3か所の位置情報について、地震・豪雨・津波などの情報を通知してくれるサービス。

全国避難所ガイド
現在地から近隣の避難場所への経路案内や、コンパスを用いた方向案内、安否確認ができる。地震・津波・土砂災害のハザードマップ切替えが可能。

その他、みなさんが普段使用されているSNS (Facebook・LINE・X (旧Twitter) 等) で最寄りの自治体公式SNSとつながっておくのもおすすめです。

甲南大学近郊マップ

10km半径

— 岡本キャンパス — 西宮キャンパス — ポートアイランドキャンパス — 白川台キャンパス
※円は10km半径を目安としています。

